

市立川西病院に関するアンケート調査結果 の概要について

平成25年2月

川西市

アンケート調査の概要

1) 発送数・回答者数について

住民基本台帳から16歳以上の市民3,000人を無作為に抽出のうえ郵送し、平成24年11月27日～12月17日までの間に回答をいただきました。

発送数 3,000人
 回答数 1,318人
 回答率 43.9%

[表1]

発送先詳細 小学校区名	発送数	
	人数	割合
牧の台地区	212	7.1%
東谷地区	253	8.4%
北陵地区	157	5.2%
緑台陽明地区	276	9.2%
けやき坂地区	107	3.6%
清和台・清和台南地区	284	9.5%
多田地区	179	6.0%
多田東地区	265	8.8%
明峰地区	274	9.1%
久代地区	176	5.9%
加茂地区	202	6.7%
川西地区	248	8.3%
桜が丘地区	177	5.9%
川西北地区	190	6.3%
合計	3,000	100.0%

[表2]

エリア名	エリア別発送割合		回答者	
	人数	割合	回答数(割合)	対発送回収率
北部	622	20.7%	311 (23.6%)	50.0%
中部	1,385	46.2%	594 (45.0%)	42.9%
南部	993	33.1%	358 (27.2%)	36.1%
不明他	-	-	55 (4.2%)	-
	3,000	100.0%	1,318 (100%)	43.9%

2) 発送・回答について

◆ 発送について

市内の各小学校区ごとに年齢別の人口分布割合に応じて均等に発送しています。[表1,3]

◆ 回答について

・エリア別発送割合と回答率は、南部の回答率が若干少ないものの、ほぼ同じような割合になっています。[表2]

・対発送回収率は、北部は50%になっており、中部・南部の順で少なくなっています。[表2]

・人口割合が多い中部は、発送数も多くなるため、全回答数に占める割合は、45%となっています。

[表2]

[表3]

年齢構成	発送数	回答数(率)	対発送回収率
16～29歳	463	84 (6.4%)	18.1%
30～39歳	458	161 (12.2%)	35.2%
40～49歳	514	185 (14.0%)	36.0%
50～59歳	359	183 (13.9%)	51.0%
60～69歳	535	311 (23.6%)	58.1%
70～79歳	452	285 (21.6%)	63.1%
80歳～	219	84 (6.4%)	38.4%
不明	-	25 (1.9%)	-
合計	3,000	1,318 (100%)	43.9%

[表4]

項目	回答数	率
1.入院したことがある	589	45%
2.入院はしていないが病院を探したことはある	294	22%
3.該当なし	184	14%
99.無回答、無効回答	251	19%
総計	1,318	100%

3) 回答者の属性について

◆ 性別

男・女50%ずつ発送

回答状況 男504(38.3%) 女744(56.4%)

不明69(5.2%)

◆ 入院等の有無

入院したり、病院を探したことがある方は、回答者の約7割近くおり、病院の具体的なイメージを持ったうえでアンケートに回答いただいたと思われます。[表4]

アンケート調査結果における各項目の表記について

問2 Aの設問 ~ と問6の設問 1 ~ 14は、対応した設問となっています。対応する各項目について共通の簡略化した文章・記号を用いています。

問2-Aの設問

健康診断や人間ドックなどを受診したい時
出産を迎えた時
子供が病気をした時
夜間の急病や交通事故にあった時
入院を伴う手術を受ける時
リハビリを受ける必要がある時
長期にわたる入院が必要となった時
訪問看護や往診など在宅医療の支援が必要な時
命にかかわるような病気になった時（がん、心疾患、
脳血管疾患など）
がんなどで末期を迎えた時
健康や病気についての相談、予防、治療、疾病管理など総合的なサービスを受けたい時

問6の設問

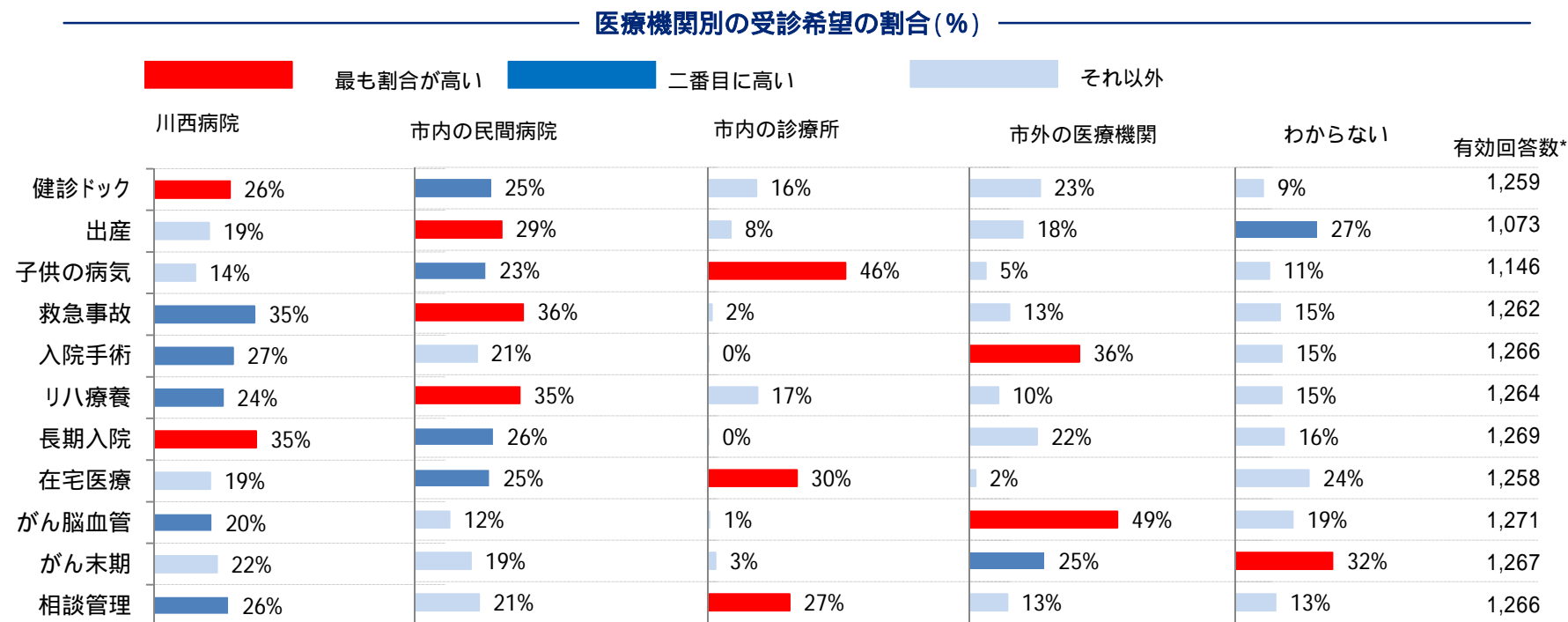
1. 病気の予防や早期の発見に力を入れる（健康診断や人間ドックなどの充実）
2. 母子の健康管理や出産に対応してもらえる
3. 子供の病気に対応できる
4. 夜間救急や交通事故などの救急患者を積極的に受け入れる
5. 入院を伴う手術などが行える
6. 手術など重度な状態を脱した後、リハビリや療養などを行う
7. 長期にわたる入院が必要となった場合に入院できる
8. 訪問看護や往診など在宅医療の支援を行う
9. 命に関わるような病気の患者が入院できる
10. がんなどで末期を迎えた患者・ご家族の方々に安心できる療養環境を提供できる
11. 健康や病気についての相談、予防、治療、疾病管理など総合的なサービスを受けられる
12. かかりつけ医と連携して、地域の医療水準の向上に貢献できる
13. 介護施設等の施設を併設している
14. 特になし

共通した文章・記号

健診・ドック	リハ療養
出産	長期入院
子供の病気	在宅医療
救急事故	がん・脳血管
入院手術	がん末期
	相談・管理

12. 「かかりつけ医との連携で地域の医療水準の向上」
13. 「介護施設の併設」
については、分野の違いや医療機関等の立場によって比較が難しいため問2Aの質問からは外しています。

問2-A: 受診したいと思う医療機関(全体n=1318)



川西病院

- 長期入院、健診ドックについては最も割合が高いが、他の項目については、二番目に高い項目が多くなっています。
- 出産、子供の病気については、低い結果となっています。

市内の民間病院

救急事故、リハビリ、出産が最も割合が高くなっています。

市内の診療所(個人医院)

子供の病気、在宅医療、相談管理など、比較的軽度で身近な項目について割合が高くなっています。

市外の医療機関

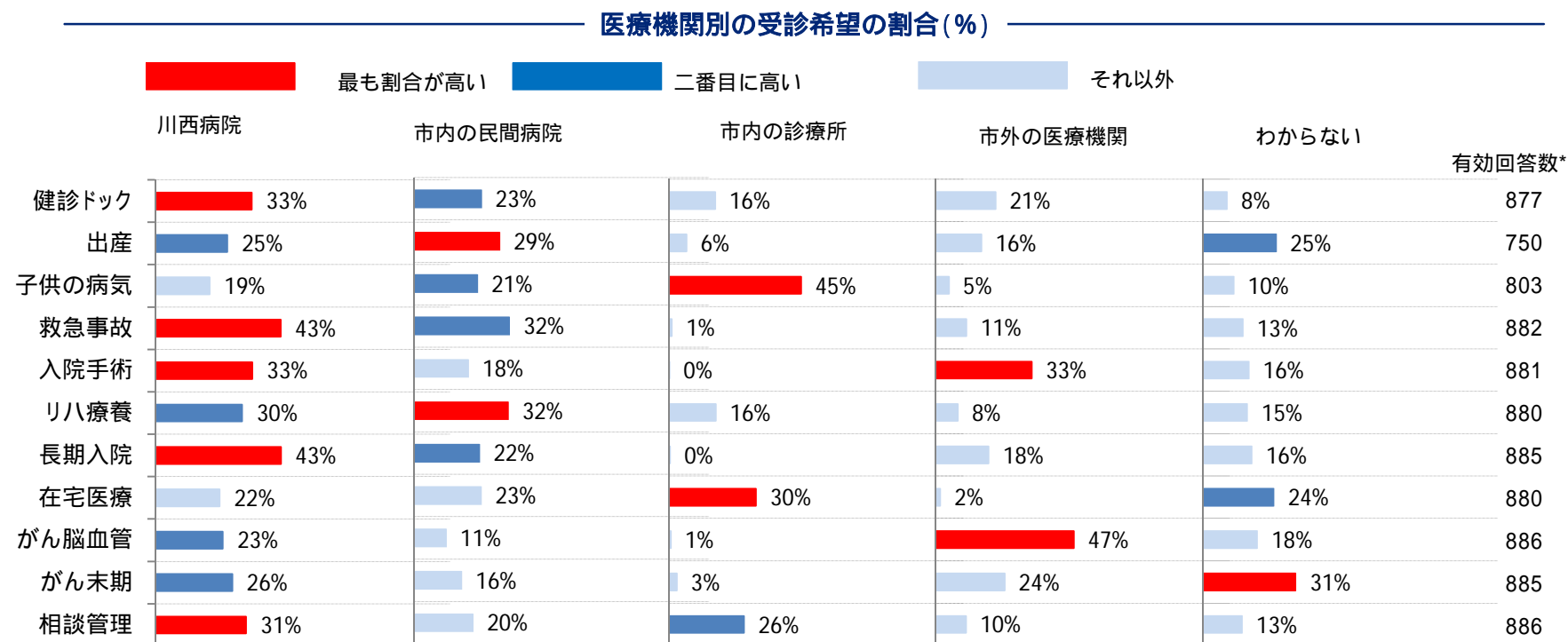
がん脳血管、入院手術といった重篤な症状の項目について、最も割合が高く、二番目の差が大きくなっています。

わからない

- がん末期、出産について高い割合になっています。
- がん末期については川西病院の緩和ケアの認知度がまだ低い可能性があります。

有効回答数*...全回答(1318)のうち、問2-Aについて無回答、不明を除く各設問に対する回答数

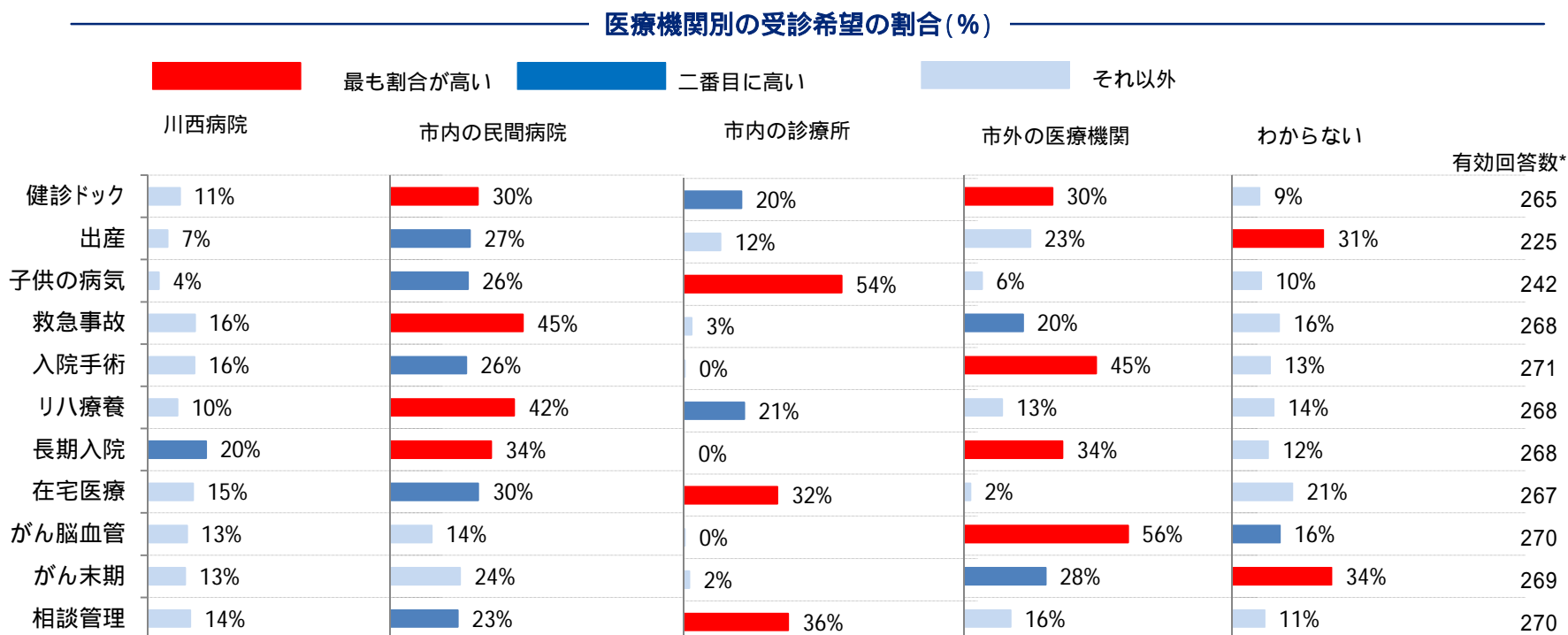
問2-A: 受診したいと思う医療機関 (問3-B: 利用したことがあるn=914)



- | | | | | |
|---|--|--|---|--|
| <p>川西病院</p> <ul style="list-style-type: none"> 川西病院を利用したことがある方は、全体的に受診希望が高い結果となっています。 子供の病気、在宅医療については、市内の診療所（個人医院）への受診希望と相関関係にあると思われます。 | <p>市内の民間病院</p> <p>民間病院での受診希望は、リハビリ、出産が最も高い割合となっています。</p> | <p>市内の診療所(個人医院)</p> <p>子供の病気、在宅医療については、最も受診希望が高く、そのほか生活に根付いた医療について割合が高くなっています。</p> | <p>市外の医療機関</p> <p>がん脳血管、入院手術の困難治療については、川西病院を利用したことがあっても市外の医療機関への受診希望が高い結果となっています。</p> | <p>わからない</p> <p>がん末期が高い割合になっており、川西病院の緩和ケアに対する認知度が十分でないことが考えられます。</p> |
|---|--|--|---|--|

有効回答数*...問3-Bで利用した事がある全回答（914）のうち、無回答、不明を除く各設問に対する回答数

問2-A: 受診したいと思う医療機関 (問3-B: 利用したことが無い n=279)



川西病院

川西病院を利用したことがない方は、受診したいと思う項目がいずれも低い結果となっています。

市内の民間病院

- 民間病院の受診希望が最も高い項目は、救急医療、リハ環境となっています。
- 特にリハ環境については、川西病院の利用のあるなしに関わらず同じ項目で高い割合となっています。

市内の診療所(個人医院)

子供の病気、相談管理、在宅医療について最も受診希望が高いなど、生活に根付いた医療について割合が高くなっています。

市外の医療機関

がん脳血管等の困難治療が特に高く、川西病院を利用していない方の半分以上が市外に医療機能を求めていることが考えられます。

わからない・無回答

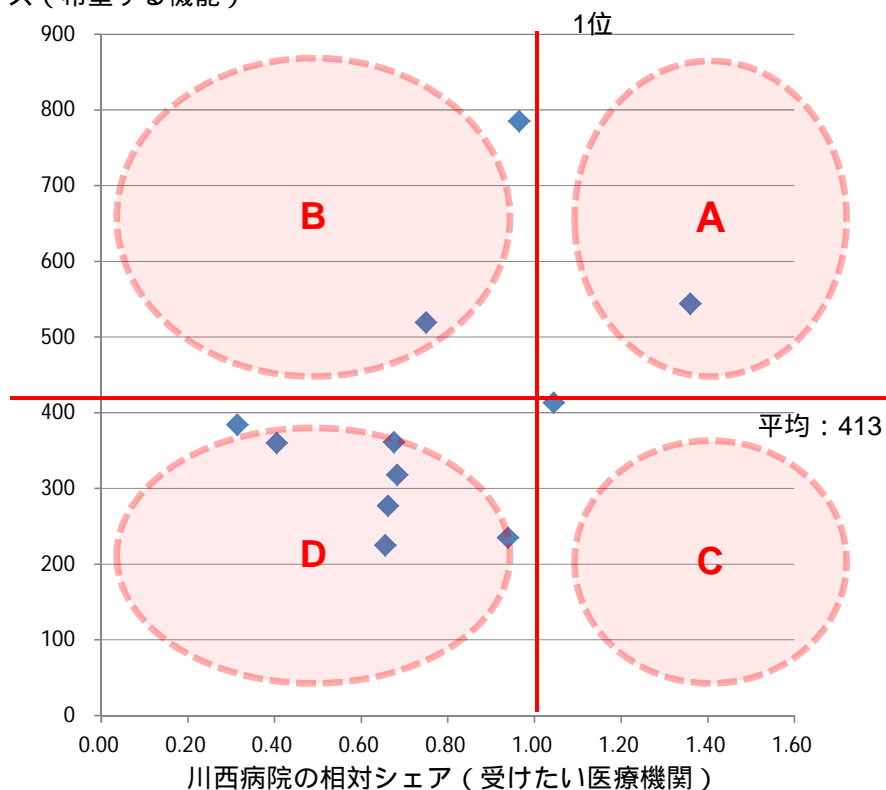
がん末期、出産について、わからないと答えた方が他項目より多くなっています。

有効回答数*...問3-Bで利用した事がない全回答(279)のうち、無回答、不明を除く各設問に対する回答数

問2-A、問6:希望する機能と受けたい医療機関(全回答 n=1318)

ニーズの高い領域では川西病院のシェアは1位前後となっていますが、出産・子供の病気・がんなど、川西病院が機能を有している領域のシェア、ニーズはともに低くなっています。

川西病院に対する
ニーズ(希望する機能)



- 相対シェア...1.00以上では川西病院が1位で、右に行くほど2位とどれ程の差をつけているか、1.00以下では、川西病院は2位以下で、1位とどれ程差をつけられているかを表示しています。
- 川西病院に対するニーズ...問6で14項目のうち1~11までの機能について選ばれた回答数となっています。(1人5つまで選択可能)

各番号が示す分野・領域(P3参照)

健診・ドック
 出産
 子供の病気
 救急事故
 入院手術
 リハビリ療養
 長期入院
 在宅医療
 がん・脳血管
 がん末期
 相談・管理

各領域の特徴

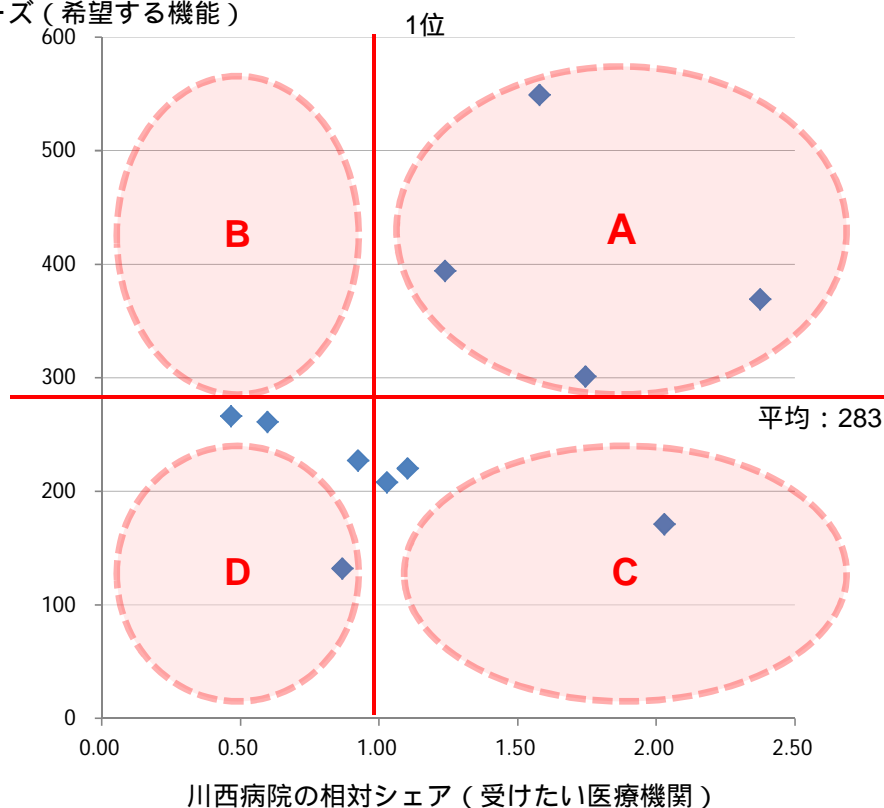
- A. シェア1位を取り、かつ希望数の多い領域
維持・強化する必要がある分野
- B. シェアは2位以下であるが、希望数の多い領域
ニーズは多く、強化を検討すべき分野
- C. シェアは1位であるが、希望数はそれほど多くない領域
希望が分散しており、役割が果たせる程度に維持すべき分野
- D. シェアは2位以下で、希望数はそれほど多くない領域
希望が分散しており、特徴を出せるように強化する分野

問2-A、問6:希望する機能と受たい医療機関(問5 Aで継続希望 n=818)

川西病院の継続を希望している方の中で、ニーズが平均よりも高い項目についてはシェアも1位となっています。

川西病院に対する
ニーズ(希望する機能)

川西病院における相対シェアと希望する医療機能



- 相対シェア...1.00以上では川西病院が1位で、右に行くほど2位とどれ程の差をつけているか、1.00以下では、川西病院は2位以下で、1位とどれ程差をつけられているかを表示しています。
- 川西病院に対するニーズ...問6で14項目のうち1~11までの機能について選ばれた回答数となっています。(1人5つまで選択可能)

各番号が示す分野・領域(P3参照)

健診・ドック
 出産
 子供の病気
 救急事故
 入院手術
 リハビリ療養
 長期入院
 在宅医療
 がん・脳血管
 がん末期
 相談・管理

各領域の特徴

- A. シェア1位を取り、かつ希望数の多い領域
維持・強化する必要がある分野
- B. シェアは2位以下であるが、希望数の多い領域
ニーズは多く、強化を検討すべき分野
- C. シェアは1位であるが、希望数はそれほど多くない領域
希望が分散しており、役割が果たせる程度に維持すべき分野
- D. シェアは2位以下で、希望数はそれほど多くない領域
希望が分散しており、特徴を出せるように強化する分野

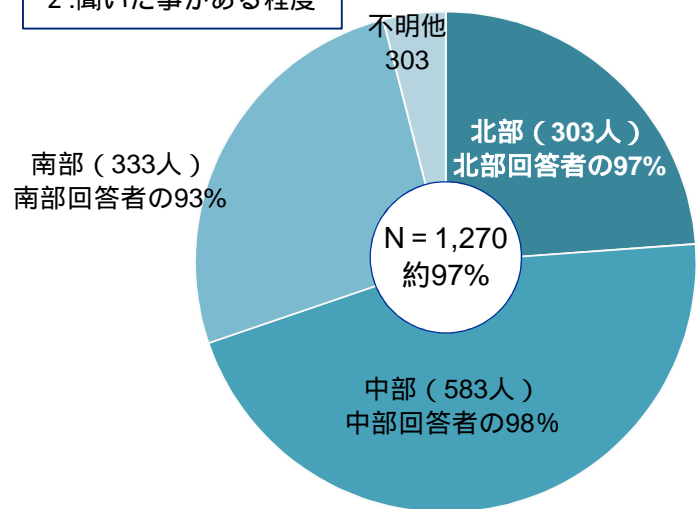
問3: 市立川西病院の知名度について

回答者の約9割の方が川西病院を知っており、そのうち約7割の方が地域でばらつきはあるものの利用したことがあると答えています。

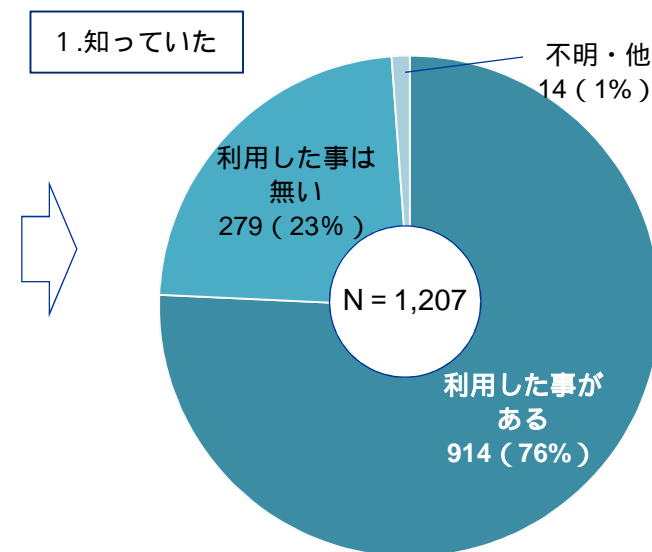
川西病院を知っているか

回答結果	回答者数	割合
知っていた	1,207	92%
聞いた事がある程度	63	5%
このアンケートで知った	30	2%
不明、無回答	18	1%
総計	1,318	100%

1. 知っていた
2. 聞いた事がある程度



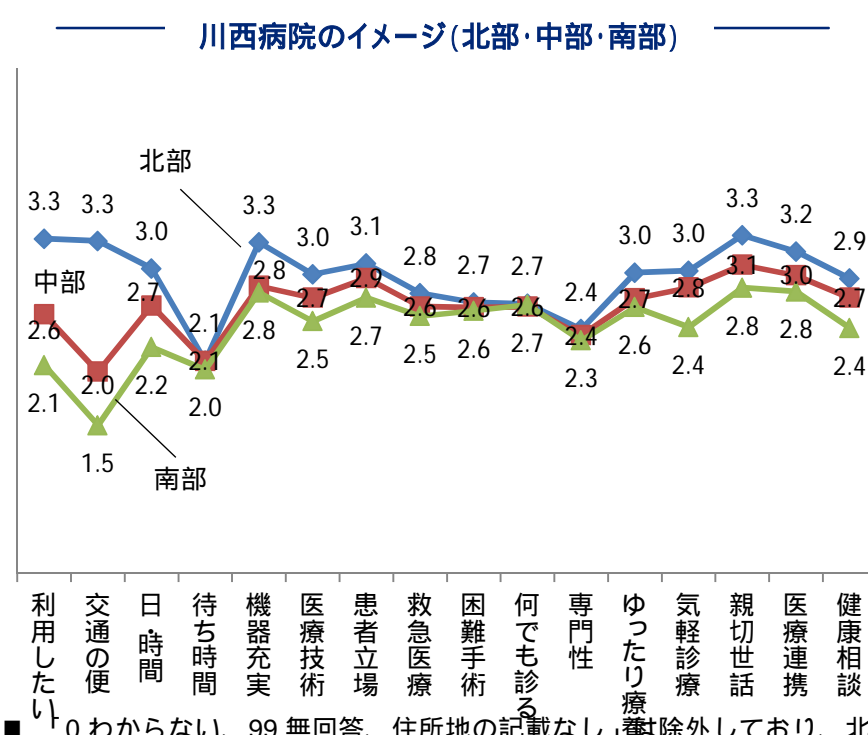
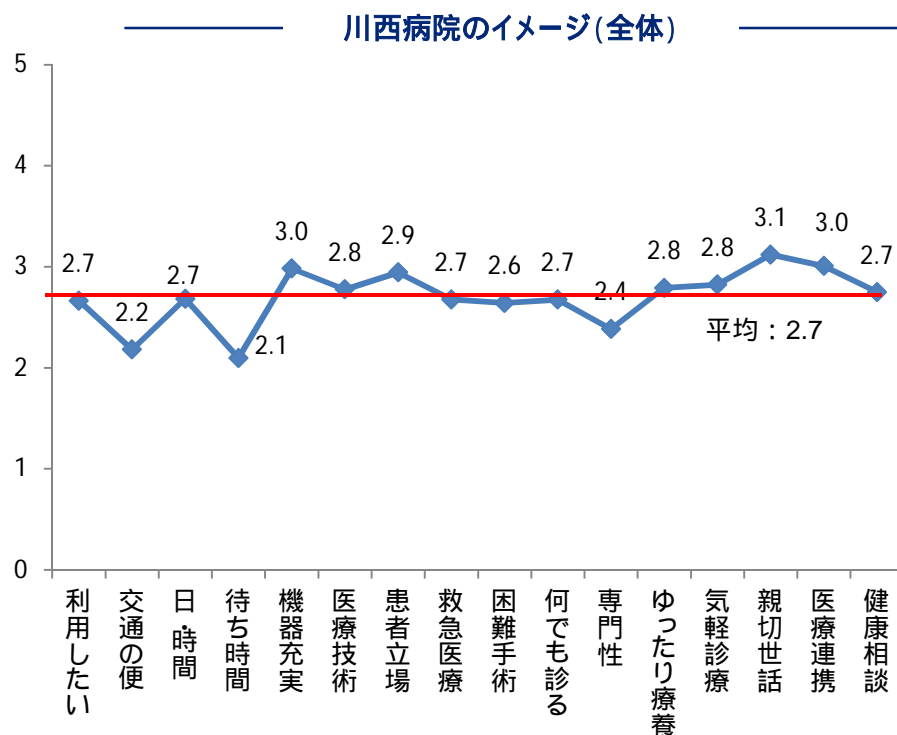
川西病院を利用したことがあるか



利用経験割合/地域	北部	中部	南部	不明・他	合計
利用した事がある	288	455	136	35	914
全回答者数	311	594	358	55	1,318
利用経験割合	92.6%	76.6%	38.0%		69.3%

問4: 川西病院のイメージ (n=1318)

平均値以下の項目が半数以上みられ、地域差のある項目もみられます。



- 問4の各項目の有効回答のうち各項目について1～5を選択された方で「5.そう思う」を5点～「1.そう思わない」を1点として各項目の平均を算出しています。
各項目の「0.わからない、99.無回答」は除外しています。

- 「利用したい」はほぼ平均、「交通の便」「専門性」「待ち時間(が短い)」は平均より低く、なかでも、「待ち時間(が短い)」は平均が一番低くなっています。

- 「0.わからない、99.無回答、住所地の記載なし」は除外しており、北部 n=311、中部=594、南部=n=358となっています。

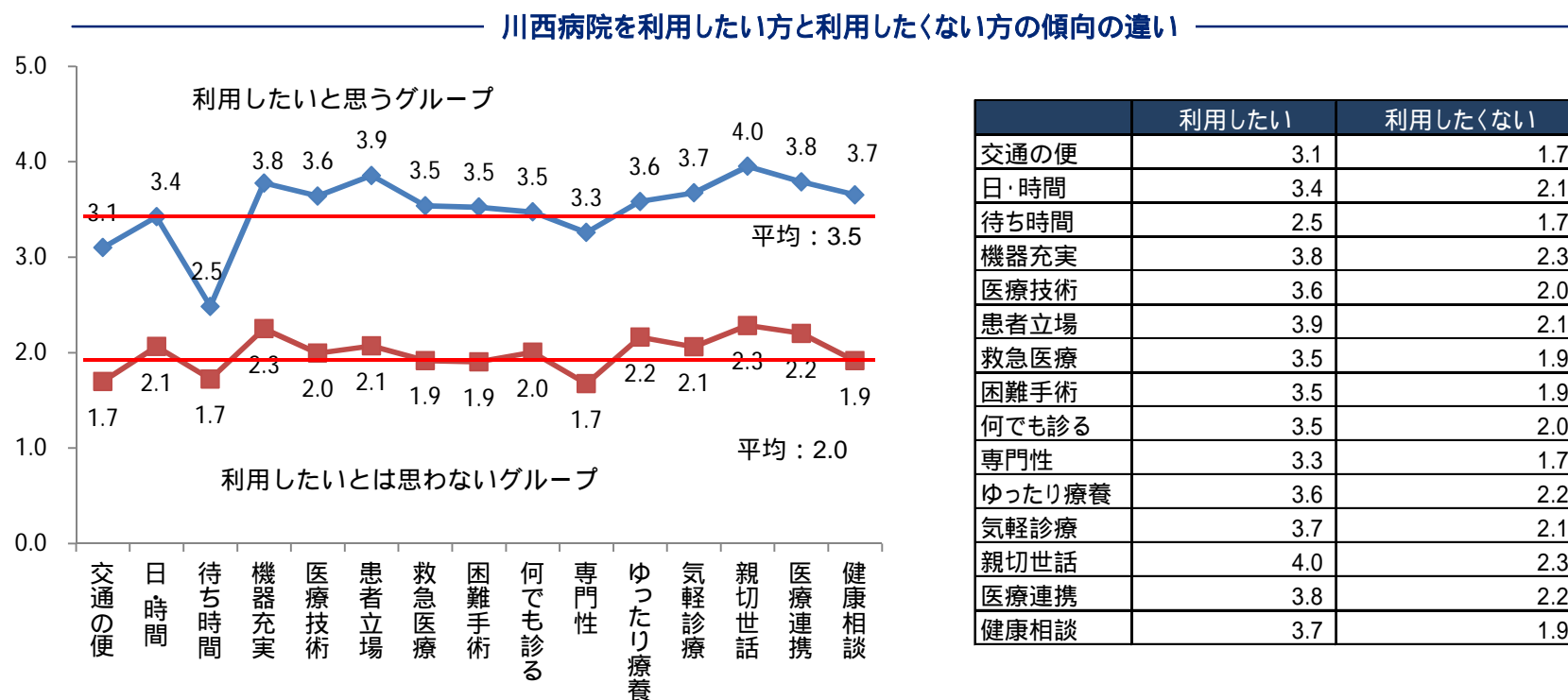
- 「利用したい」は、病院から遠くなるとともに割合は少なくなっています。

- 「待ち時間(が短い)」「専門性」については、各地域で共通して、他の項目より平均が低くなっています。

- 「親切世話」「患者立場」「医療連携」のイメージがいずれの地域も他項目より高く、かかりつけ医型のイメージが強いと思われます。また、「機器の充実」については全体的に充実しているイメージを持っていると思われます。

問4:川西病院のイメージ(問4 :利用したい方と利用したくない方の傾向の違い)

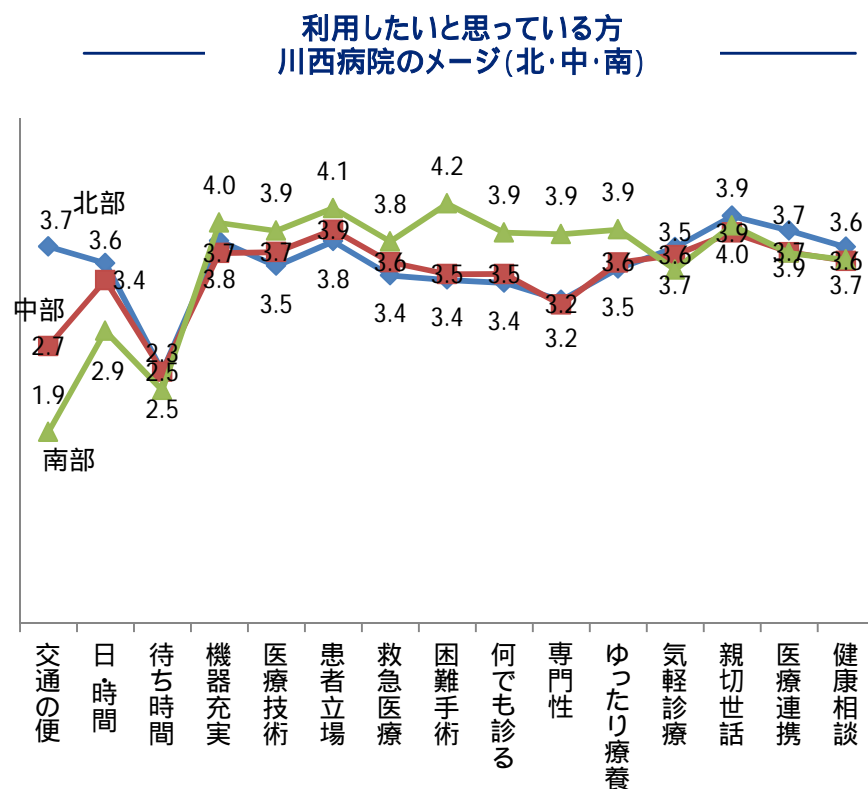
利用したい方は、川西病院の「患者立場」「親切世話」を高く評価しており、利用したい理由のひとつとなっています。



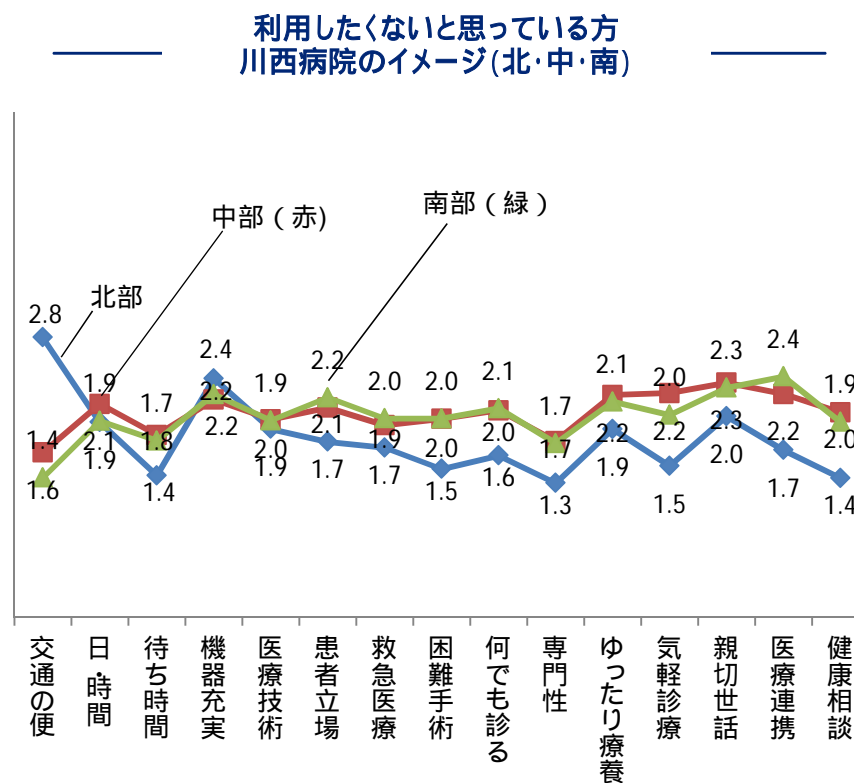
- 「機器充実」「患者立場」「親切世話」「医療連携」については、どのグループも平均より高く、利用したいと思うグループがより満足していると思われます。
- 「交通の便」「待ち時間（が短い）」「専門性」については、両方のグループが平均以下となっていますが、「待ち時間（が低い）」については両方のグループの多くの方が不満を持っていると思われます。

問4: 市立川西病院のイメージ(問4 : 利用したい方と利用したくない方の地域別詳細)

利用したいと思う方の中でも南部在住の方の評価が高く、利用したくないと思う方の中では、北部在住の方の評価が低い傾向にあります。



- 北部n=153、中部n=141、南部n=38となっている。住所地の無回答の場合は除外しています。
- 「交通の便」は地域によって評価が異なり、「待ち時間」については、各地域とも共通してあまりいい評価になっていません。
- 「困難手術」「専門性」については、南部在住の方は比較的评价しているのに対し、北部、中部在住ではあまりいい評価になっていません。

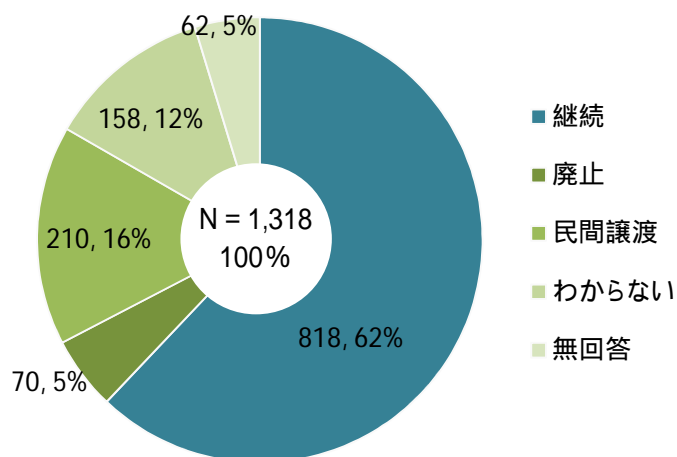


- 北部n=77、中部n=242、南部n=166となっています。住所地の無回答の場合は除外しています。
- 利用したくないと思っている方でも、南部、中部在住の方の印象は北部在住の方に比べて比較的好い傾向にあります。

問5: 病院の必要性について

川西病院の必要性については「継続」と答えた方が最も多く、次いで「民間に譲渡」が多くなっています。継続と答えた方は、中部在住が最多となっています。

市立川西病院の必要性



- 必要性については、全回答者のうち、62%が継続が望ましいと考えています。次いで、民間に譲渡が16%、わからないが12%、廃止が5%となっています。

居住地による必要性の違いについて

規模/住所	北部	中部	南部	無回答他	総計
継続	248	356	186	28	818
%	30%	44%	23%	3%	100%
廃止	7	32	27	4	70
民間譲渡	36	105	63	6	210
わからない	15	75	58	10	158
無回答	5	26	24	7	62
総計	311	594	358	55	1,318
全体に対する継続の割合	80%	60%	52%	51%	62%

- 継続と答えた818人のうち、地域別では中部在住の方が一番多くなっています。また、中部在住の回答者のうち、約60%（356人/594人中）の方が継続を希望していることとなります。
- 現在の病院から離れるに従い、継続希望の意見は減っていく傾向にあります。

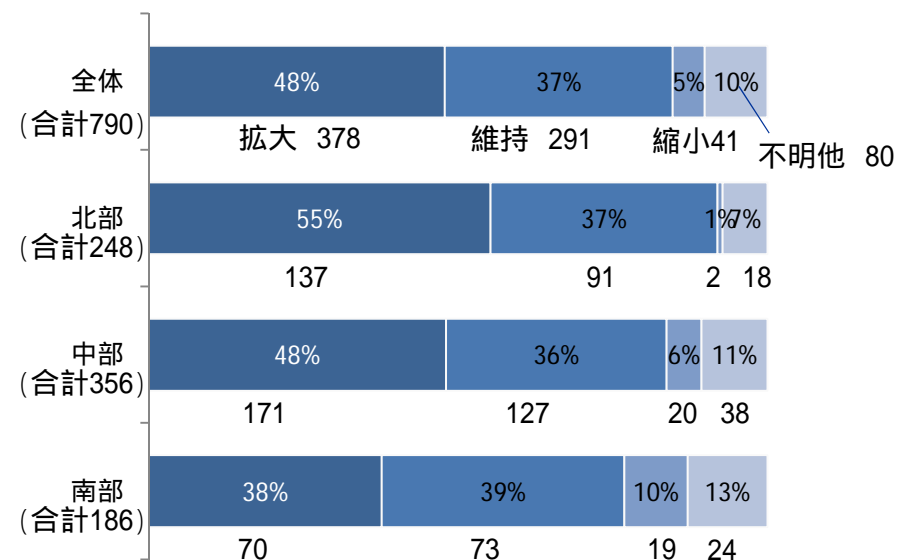
問5: 継続の場合の立地と規模について

北部地域での継続を希望する方は北部・中部在住に多く、規模については拡大、現状維持を希望する方が多くなっています。

どこで継続するのか

住所別の病院機能の拡大・現状維持・縮小

希望地 / 住所	北部		中部	南部		わからない他	合計
	現在地	現在地以外		JR線以北	JR線以南		
北部在住	208	14	10	4	0	12	248
中部在住	119	15	128	65	11	18	356
南部在住	18	7	42	80	27	12	186
わからない	1	0	0	0	0	1	2
無回答	12	1	10	2	1	0	26
合計	358	37	190	151	39	43	818



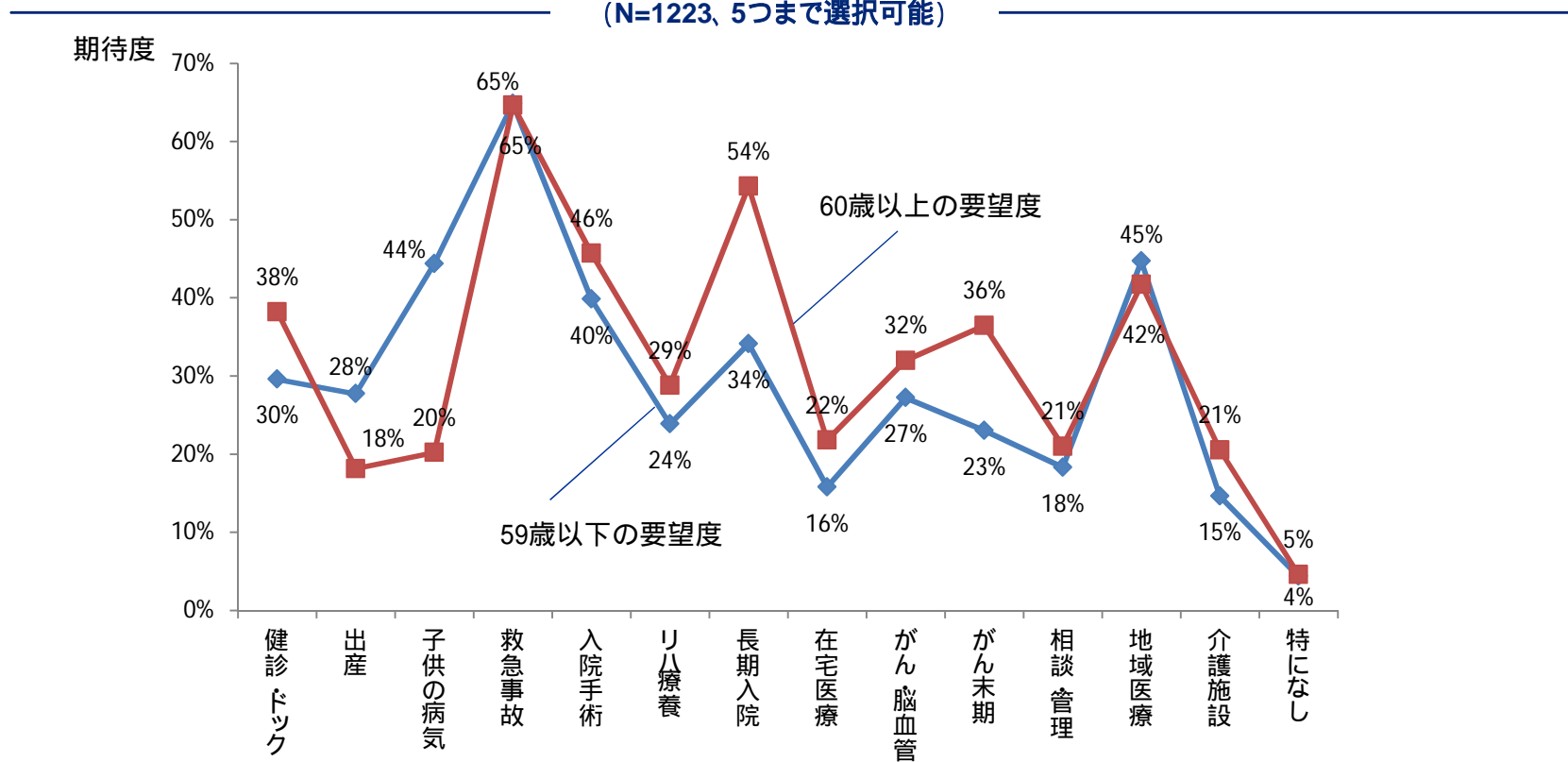
- 継続が望ましいと答えた818人のうち、どこで継続すべきかという問いには、自身の居住地が良いと答えた方が多いのは北部在住と南部在住になっています。中部在住の方については、北部地域（現在地+現在地以外）で継続と答えた方が一番多い結果となっています。
- どこで継続するかについては、北部（現在地+現在地以外の合計）48%、中部23%、南部（JR線以北+JR線以南の合計）23%となっています。

- 北部在住で規模拡大の割合が高く、南に行くに従い、維持の割合が高くなっています。
- 全ての地域において維持・拡大は7割を超えており、縮小は5%となっています。
- 全体（合計790人）は、北部、中部、南部在住の合計となっており、住所地がわからない・無回答の方（28人）は含んでいません。

問6: 市立川西病院に期待する役割

年齢階層別（59歳以下、60歳以上）で期待度を見ると、「子供の病気」「がん末期」「長期入院」では、世代間に開きがありますが、共通して期待度が高いのは「救急事故」となっています。

世代別の川西病院への要望度(%)
(N=1223、5つまで選択可能)



- 上記の期待度は、各項目の回答数を、各年齢層の回答者数で除して算定しています。無効回答や無回答の方は含んでいません。
- 世代を通して一番期待が高いのは、「救急事故」ですが、59歳以下は「地域医療」「子供の病気」が高く、60歳以上は「長期入院」「入院手術」が高くなっています。

質問項目別回答結果

質問項目別の回答結果(問2～問8:文章部分は除く)

問2-A 状況に応じてどの病院に行きたいか

	1.川西病院	2.市内の民間病院	3.市内の診療所	4.市外の医療機関	5.分からない	99.不明、無回答	合計	有効回答合計
病気の予防や早期の発見に力を入れる	329	315	204	295	116	59	1,318	1,259
母子の健康管理や出産に対応してもらえる	204	308	83	190	288	245	1,318	1,073
子供の病気に対応できる	164	268	522	63	129	172	1,318	1,146
夜間救急や交通事故などの救急患者を積極的に受け入れる	436	452	19	168	187	56	1,318	1,262
入院を伴う手術などが行える	345	261	5	460	195	52	1,318	1,266
手術など重度な状態を脱した後、リハビリや療養などを行う	300	439	209	122	194	54	1,318	1,264
長期にわたる入院が必要となった場合に入院できる	446	328	5	285	205	49	1,318	1,269
訪問看護や往診など在宅医療の支援を行う	244	309	372	27	306	60	1,318	1,258
命に関わるような病気の患者が入院できる	252	147	9	622	241	47	1,318	1,271
がんなどで末期を迎えた患者・ご家族の方々に安心できる療養環境を提供できる	275	236	34	315	407	51	1,318	1,267
健康や病気についての相談、予防、治療、疾病管理など総合的なサービスを受けられる	323	270	344	160	169	52	1,318	1,266
	3,318	3,333	1,806	2,707	2,437	897	14,498	13,601

質問項目別の回答結果(問2～問8:文章部分は除く)

問3-A	回答数
1.知っていた	1,207 92%
2.聞いた事がある程度	63 5%
3.このアンケートで知った	30 2%
99.不明、無回答	18 1%
総計	1,318

問3-B	回答数
1.利用したことがある(本人・家族)	914 76%
2.利用したことはない	279 23%
3.覚えていない	1 0%
99.不明、無回答、回答不要	13 1%
総計	1,207

問3-Bで「1.利用したことがある」を選択した方のみ(回答数:914)

問3-C	回答数
1.主に自家用車	656 72%
2.主に公共交通機関	162 18%
3.主に徒歩	70 8%
99.不明、無回答、回答不要	26 3%
総計	914

問3-C(主に自家用車)と住所地	回答数	率
1.北部	185	28%
2.中部	358	55%
3.南部	91	14%
4.不明、他	22	3%
総計	656	

問3-C(主に公共交通機関)と住所地	回答数	率
1.北部	42	26%
2.中部	75	46%
3.南部	36	22%
4.不明、他	9	6%
総計	162	

質問項目別の回答結果(問2～問8:文章部分は除く)

問4 川西病院の評価

問4	0.わからない	1.そう思わない	2.あまりそう思わない	3.どちらでもない	4.まあそう思う	5.そう思う	99.不明、無回答	総計
交通の便がよい	28	633	210	118	130	160	39	1,318
診療日や診療時間が利用しやすい	320	192	218	292	151	78	67	1,318
待ち時間が短い	343	334	284	201	76	23	57	1,318
医療機器や検査機器が充実している	431	110	189	208	250	72	58	1,318
医師の医療技術が高い	479	141	165	255	172	50	56	1,318
患者の立場で考えてくれる病院である	453	130	133	261	224	62	55	1,318
救急医療が充実している	534	166	163	188	161	49	57	1,318
難しい手術などを行っている	611	136	169	145	138	39	80	1,318
なんでも診てもらえる	394	200	222	147	223	61	71	1,318
専門性の高い病院である	439	215	233	205	124	23	79	1,318
ゆったり療養できる	490	129	180	202	193	44	80	1,318
気軽に診てもらえる	343	172	201	208	239	74	81	1,318
親切に世話をしてくれる	453	97	120	246	244	82	76	1,318
他の医療機関との連携がよい	616	84	116	186	186	51	79	1,318
健康や病菌について気軽に相談できる	473	150	159	239	169	49	79	1,318
全体的に見て利用したい病院である	196	298	203	203	242	104	72	1,318

問5 A.川西病院の必要性

A	回答数	率
1.継続	818	62%
2.廃止	70	5%
3.民間へ譲渡	210	16%
4.わからない	158	12%
99.不明、無回答	62	5%
総計	1,318	

問5 B.立地(継続の場合)

B	回答数	率
1.北部	358	44%
2.北部(現地以外)	37	5%
3.中部	190	23%
4.南部(JR線以北)	151	18%
5.南部(JR線以南)	39	5%
6.分からない	29	4%
99.不明、無回答	14	2%
総計	818	100%

問5 C.規模・診療科(継続の場合)

C	回答数	率
1.拡大する	390	48%
2.現状維持	303	37%
3.縮小する	42	5%
4.わからない	69	8%
99.不明、無回答	14	2%
総計	818	100%

質問項目別の回答結果(問2～問8:文章部分は除く)

問6 川西病院に期待する機能・役割・充実して欲しい分野	回答数	率
1.病気の予防や早期の発見に力を入れる	418	8%
2.母子の健康管理や出産に対応してもらえる	280	5%
3.子供の病気に対応できる	391	7%
4.夜間救急や交通事故などの救急患者を積極的に受け入れる	795	15%
5.入院を伴う手術などが行える	528	10%
6.手術など重度な状態を脱した後、リハビリや療養などを行う	324	6%
7.長期にわたる入院が必要となった場合に入院できる	549	10%
8.訪問看護や往診など在宅医療の支援を行う	232	4%
9.命に関わるような病気の患者が入院できる	365	7%
10.がんなどで末期を迎えた患者・ご家族の方々に安心できる療養環境を提供できる	368	7%
11.健康や病気についての相談、予防、治療、疾病管理など総合的なサービスを受けられる	242	5%
12.かかりつけ医と連携して、地域の医療水準の向上に貢献できる	529	10%
13.介護施設等の施設を併設している	218	4%
14.特になし	55	1%
小計	5,294	100%
99.無回答、不明	1,296	20%
合計	6,590	